

保護者の皆さまへ

千早赤阪村立赤阪小学校

校長 蔦 垂紀朗

学校教育アンケート結果について(ご報告)

桃花の候、平素から本校教育活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。
さて、2月に保護者・児童対象に実施いたしました学校教育アンケートについて、下記の通りご報告させていただきます。

記

- ① 保護者アンケート(保護者対象)の集計表及び考察
- ② 児童アンケート(5・6年生対象)の集計表、自由記述及び考察
- ③ 「赤阪小学校を改善していくための提案(保護者対象)」については、学校運営全体に関わるご意見を掲載させて頂き、いただいたご意見について、今の時点での学校としての対応や課題と思われる点をお知らせし、次年度の教育活動の中で生かしていきたいと考えております。

■□■ 集計表の見方 ■□■

【児童用アンケート】

A:「そう思う」 B:「だいたいそう思う」 C:「あまりそう思わない」 D:「まったく思わない」

【保護者用アンケート】

A:「そう思う」 B:「だいたいそう思う」 C:「あまりそう思わない」 D:「そう思わない」

上記のA,B,C,Dを割合(%)で表すとともに、「A+B」をプラス(肯定的)評価、また「C+D」をマイナス(否定的)評価として表しています。

本校では、今回の学校アンケートの結果を分析、考察し、学校運営、学校教育活動の改善に努めてまいります。また、保護者の皆様からの質問やご意見をいただきながら、子どもたちのためになるように考えていく方向で進めてまいります。今後とも学校に対して何かご質問やご意見がおありでしたら、いつでもお知らせいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

令和5年度保護者アンケート集計表		割合(票数÷合計)					プラス評価	マイナス評価
項目	A	B	C	D	合計	A+B	C+D	
1 子供は、楽しく学校に登校している。	46%	46%	6%	2%	100%	93%	7%	
2 学校は、教育目標や教育方針をわかりやすく伝えている。	30%	65%	6%	0%	100%	94%	6%	
3 学校は、特色ある教育活動を行っている。	50%	41%	9%	0%	100%	91%	9%	
4 学校は保護者・地域の願いに応えている。	26%	60%	11%	2%	100%	87%	13%	
5 学校での子供の学習活動・様子について、配布物や学校からの連絡、ホームページ等で知ることができる。	57%	39%	4%	0%	100%	96%	4%	
6 学校は学習のつまづきを把握し、一人ひとりの子供に応じた指導や支援をしている。	35%	44%	19%	2%	100%	80%	20%	
7 学校は豊かな心を育むための学習や体験活動にとりくんでいる。	46%	50%	2%	2%	100%	96%	4%	
8 通知表「のびる子」は、子供の学力や達成度を知るようにできている。	43%	48%	9%	0%	100%	91%	9%	
9 学校では環境、国際理解、食育、福祉、プログラミング教育等の様々な教育課題について子供に学ばせている。	44%	43%	13%	0%	100%	87%	13%	
10 学校では子供の人権を尊重する教育活動が行われている。	33%	54%	11%	2%	100%	87%	13%	
11 学校は、子供に生命を尊重する心や社会のルールを守る態度を育てている。	28%	65%	6%	2%	100%	93%	7%	
12 学校では防災学習、交通安全、不審者対応などの防災、安全教育について子供に学ばせている。	48%	44%	7%	0%	100%	93%	7%	
13 学校では他学年とのたてわり活動(わんぱく班)を行い、友だちを大切に作る仲間作りに取り組んでいる。	70%	26%	4%	0%	100%	96%	4%	
14 学校は子供のたちの体力向上・運動についての関心を高める取り組みを行っている。	39%	44%	17%	0%	100%	83%	17%	
15 運動会、学習発表会、参観、懇談等の行事は参加しやすい。	50%	44%	6%	0%	100%	94%	6%	
16 PTAは積極的に活動している。	50%	41%	9%	0%	100%	91%	9%	
17 新型コロナウイルス感染症の5類扱い以降、学校は、感染防止や教職員の働き方改革にも配慮しながら、行事を工夫している。	46%	48%	6%	0%	100%	94%	6%	
18 学校は、地域に開かれた学校づくりのため、子ども育みボランティア活動の推進など地域連携を進めている。	46%	48%	4%	2%	100%	94%	6%	

A: そう思う B: だいたいそう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
 ※計算式によりA+B+C+Dの割合が100%にならない場合もあります。

【アンケート結果より】（アンケート回収率は72%でした）

対象の保護者の方が年度ごとに入れ替わっていきますので、昨年度との単純比較が正確な考察とはいえませんが、②の「教育方針・教育目標の伝え方」、⑦の「豊かな心を育むための学習や体験活動」、⑩の「生命尊重・社会のルールを守る教育」、⑫の「安全教育」、⑯の「PTA活動」について、これらが昨年度より肯定的な評価が比較的増えた項目です。⑥の「一人ひとりの子どもに応じた指導や支援」、⑭の「体力向上・運動への関心を高める取り組み」については、プラス評価が減りました。どちらも学校教育の中で、大事にすべきところです。次年度の学校体制、また年間の行事や授業の計画づくりにおいて精選が必要な面もございますが、肯定的な評価を多くいただいた部分も含めアンケート結果を参考にさせていただき、重点を置くもののバランスを考えて参りたいと思います。

令和5年度 児童アンケート集計表		割合(票数÷合計)					プラス評価	マイナス評価
	項 目	A	B	C	D	合計	A+B	C+D
1	学校へ行くのが楽しい。	33%	57%	7%	3%	100%	90%	10%
2	先生たちは、わたしたちの意見をよく聞いてくれる。	50%	43%	7%	0%	100%	93%	7%
3	学習で自分の考えをまとめたり、発表することがある。	60%	27%	13%	0%	100%	87%	13%
4	先生たちは教え方にいろいろな工夫をしている。	47%	50%	3%	0%	100%	97%	3%
5	学習でわからないことについて、先生に質問しやすい。	37%	43%	17%	3%	100%	80%	20%
6	先生たちは、学習で自分が努力したことを認めてくれる。	33%	60%	7%	0%	100%	93%	7%
7	体育の授業や運動会、かけ足記録会などの行事を通して自分の体力がついてきたと思う。	47%	33%	10%	10%	100%	80%	20%
8	ちがう学年と協力する「わんぱく班活動」は大切だと思う。	53%	33%	13%	0%	100%	87%	13%
9	地震や火災などがおこった時、どうしたらよいかを教えてもらっている。	70%	30%	0%	0%	100%	100%	0%
10	学習で大人になったときの職業(仕事)について考えることがある。	30%	43%	23%	3%	100%	73%	27%
11	学習で協力、奉仕(社会や人のためにつくす)、助け合いについて学ぶことがある。	47%	43%	10%	0%	100%	90%	10%
12	学級会では友達やクラス・学校のことについてよく話し合う。	47%	37%	17%	0%	100%	83%	17%
13	委員会活動はみんなの役に立っていて、やりがいがある。	40%	50%	10%	0%	100%	90%	10%
14	命の大切さや社会のルールについて学ぶことがある。	67%	30%	3%	0%	100%	97%	3%
15	自分を大切に、仲間への思いやりについて学ぶことがある。	60%	33%	3%	3%	100%	93%	7%
16	世界の国々のことや環境問題、いろいろな人たちの生き方について学習することがある。	70%	27%	3%	0%	100%	97%	3%
17	給食の時、栄養教諭や担任などから、栄養や食べ物のことについて教えてもらう機会がある。	63%	30%	7%	0%	100%	93%	7%

※計算式によりA+B+C+Dの割合が100%にならない場合があります。

令和5年度 学校アンケート 児童自由記述の内容

赤阪小学校の教育や学校生活をより良いものにするために、こうすればいいという意見があったら書いてください。

○遊具を増やす。

○人の話は大切に。そして仲を深める。

【アンケート結果より】

ほぼ全ての項目、昨年度よりプラス評価の割合が増えています。

⑬の「委員会活動はやりがいがある」はここ数年ぐんぐんプラス評価が増えています。今年度もさらに上がりました。⑪の「協力、奉仕、助け合いについて学ぶことがある」も同じく年々、そして今年度もプラス評価が増えています。グループでの活動、複数学年での交流、わんぱく班の異年齢活動の充実感があるのではないかと考えています。

⑩の「大人になったときの職業（仕事）について考えることがある」の項目は、今年度は昨年度と違い、プラス評価が増えました。6年生はキッザニア甲子園での学習がありますし、ふだんの学習の中でも、キャリアパスポートに記録を積み重ねています。

プラス評価が減ったのは、⑤の「わからないことについて質問しやすい」でした。④の「教え方に工夫がある」と⑥の「努力したことを認めてくれる」が、どちらも10ポイントくらい上がっているのに、質問の必要性自体が下がっているのかもしれませんが、必要なときは遠慮なく授業時間外でも質問してくれるといいなと思います。

また、いくつかの設問でD評価の回答が例年、そして今年度も一定数存在することが気になります。児童一人ひとりの気持ちに寄り添った丁寧な指導をこれからも心がけて参ります。

「自由記述」では、遊具についてのリクエストがありました。具体的にはブランコがあれば嬉しいそうですが、遊具を新しく設置することは、予算のことも含めなかなか難しい面があります。

「人の話を大切にすること」、「仲を深めること」は、教育や学校生活をよりよくするために本当に大事なことだと改めて思います。しっかり受け止めようと思います。

令和5(2023)年度 赤阪小学校を改善していくための提案

※保護者の皆様よりいただいたご意見についてお答えしたいと思います。ご意見につきまして、ほぼ原文通りの表現にさせていただいております。(今回はありませんでしたが)個人が特定されると思われる内容については、記載を控えたり、変更させていただいたりします。また、ご提案にはご記名をお願いしていましたので、記名のあったものについて掲載させていただきます。無記名のご提案は掲載せず参考とさせていただきます。ご了承ください。(今年度も無記名のものはありませんでした。ご協力ありがとうございました。)

赤阪小学校長 薦 亜紀朗

給食日程・回数について

■懇談会るとき、(給食なし下校が)何日か続くのですが、給食を済ませて帰ってくると、どの家庭も助かるのではないのでしょうか。自分の子どもの懇談の日でも、帰ってきて食事をとらせて・・・だととてもせわしないときもあります。自分の懇談ではない日も、何日か昼食の準備が必要になります。可能なら給食を実施してほしいです。長期休みの前も、早めに給食が終わるのは何故なのでしょう。終業式前まであるといいのに、と思います。親としては。

→<ご質問、ご提案に対して>

具体的にご質問やご希望を伝えてくださり、ありがとうございました。現在の給食の予算・契約では、村立小学校で年間上限182回の給食提供の機会があります。それに対し、年間授業日数は200日前後ありますので、一定、給食のない授業日が生じます。村立小・中学校3校で給食なしの日を調整する必要もあります。個人懇談会は午後の実施時間を長く取るためなどの理由から、個人懇談会期間中を基本給食なしにしています。また、学期末は授業以外の業務も集中しますので、早めの下校で時間確保をしていること、1学期末は暑い時期ですので、児童の下校時刻を早めて負担軽減を図っている面もあります。どうぞご理解ください。

校庭開放について

■放課後の校庭開放日を増やしてほしい。子どもどうしが遊べる場所(外遊びや図書の利用など)があると、ゲームやTV、タブレットなどの使用時間も減らすことができる。

※校庭開放の機会増については複数の方からご意見をいただきました。

→<ご提案、ご意見に対して>

大幅な回数増は難しいですが、次年度は、今年度より増やせる機会には積極的に「校庭開放日」を設けたいと思います。今年度初めて実現した子ども育みボランティアさんによる「プラスワン」の室内遊び企画も、次年度可能な範囲で継続していただけるよう連携を図る予定です。メディア時間削減の取り組みを意識してくださってのご提言、ありがとうございます。

運動会の団体演技について

■毎日、学校へ行くのが楽しいようです。ありがとうございます。いろいろ考えていただいていると思うんですが、運動会の5・6年の種目の「よっちょれ&ソーラン節」なんですが、似たような感じなので違う雰囲気の2曲にしてはどうですか？（5・6年生ではない観ている側の）子どもも言ったので。

→<ご提案、ご意見に対して>

学校側でも高学年の団体演技2種（2曲）の構成については運動会実施後に意見交換を行いました。今年度は運動会について、半日開催を継続してく中でどんな行事にしていくのか原点に立ち返っての議論も行いました。それらもふまえ、団体演技の方向性についても次年度再び検討する予定にしております。いただいたこのご意見も参考にさせていただきます。ありがとうございました。

トイレのスリッパについて

■衛生上、感染防止の問題から、消毒をご希望。

→<ご提案、ご意見に対して>

ご意見くださり、ありがとうございました。年間を通じて定期的に行うようにいたします。

暑さ対策・熱中症予防について

■夏のスポーツドリンク・経口補水液の持参やクールダウンできるグッズの使用については絶対にだめだと決めずに臨機応変に対応してほしい。（例）体調がすぐれないときは持参を可能にもらう。クールダウンできるグッズについては使用方法を家庭でも教えるので、体育の後や暑さが厳しい日は使用可能にもらう。

→<ご提案、ご意見に対して>

健康・体調管理、生命に関わることで、学校としても禁止や厳しい制限がまずありきという方向ではございません。一定のめやすとしてルール化しておりますが、これだけの猛暑が頻発する近年ですので、おっしゃるように状況や事情により個別に柔軟に対応したいと思います。経口補水液は、日常的に児童が飲用する意味合いのものではありませんので、常時一定量備蓄しております。村の予算で購入した経口補水液を、必要なときに児童が飲用できるようにしております。スポーツドリンクは、お茶の水筒と両方持参ならOKとしておりましたが、糖分の摂取過多となる点、本校児童の虫歯率の高さも懸念し、今年度からは推奨せずプリントの記載内容から省きました。十分なお茶を用意していただき、小まめに水分補給をすることを基本とします。お茶に塩を少量混ぜていただいてもかまいません。なお、学校の水道水はふだんから飲用可としております（定期的に学校薬剤師の水質検査を受けております）。登下校については日傘の使用（雨傘での代用）も勧めしております。ご意見ありがとうございました。

給食エプロンの廃止（マイエプロン制）について

■1週間、同じものを使用するのは不衛生なため、マイエプロンか使い捨てエプロンを使用する案。PTA保健体育委員の仕事の削減（も考慮されて）。

→<ご提案、ご意見に対して>

ご意見ありがとうございました。村立学校の給食指導に関することは、基本、村立学校給食センターの方針に沿って対応しております。給食当番の児童は、週単位で共有のエプロン・帽子を使用しており、それらは「手首まで覆う白衣（いわゆる「かっぱう着タイプ」）と髪の毛をすっぽりと覆う帽子」となっています。わんぱく班給食や学期末の短期間にマイエプロン・三角巾で対応しているときはございますが、これは本来、給食センターの方針による村立学校の給食指導の対応とは異なっておりまして、校内事情により学校判断でやむを得ず・・・という認識で行っております。通常ですと、給食当番の児童は基本週5日間、同じエプロンを着用しています。思わぬことでかなり汚れてしまった場合は、週末に2セット持ち帰ってもらうことになりましたが予備を貸し出して交換することもあります。

なお、ご家庭の方針で、既に個別にマイエプロンを選択されているケースが本校ではあります。給食センターと相談の上、かっぱう着タイプの白上衣、すっぽりかぶる形の白帽子を別途個別に購入されています。現在給食当番が使用しているタイプと同じものです。※給食センターでの個別販売は受け付けておりません。

PTA保健体育委員の皆様には、保健体育委員会の年間活動の一つとして、例年1学期末頃に

給食エプロン点検・補修にご協力いただいております。今年度末の各委員会からの反省や申し送りのご意見に同じようなご意見が出たり、次年度のPTA委員総会で年間活動を計画していただく際に課題に上がったりした場合は、ご検討いただければと思います。

PTA役員選出について

■PTA役員選出（役員選出候補者報告）を地区別にせずに、全体で選出するようにしてほしい。子どもが少ない地区は、何回も役員選出に当たる。また、1家庭しかない地区は、役員選出がなく、地区委員しか回ってこないから。（例）森屋、水分北・南・出合など近くの地区を1グループとするなど。

→<ご提案、ご意見に対して>

次年度4月の書面審議総会用の資料にも、申し送りとしていただいたご意見を記載するよういたします。次年度のPTA役員会・実行委員会で検討していただけたらと思います。ご意見ありがとうございました。

夏休みの自由研究について

■長期休みの宿題の丸付けは、子どもたちでするか、学校でお願いしたい。

・本人が丸付けをできる場合は、丸付けをして直しまでのやり方を、休みに入るまでに教えてほしい（自分で解いた問題を自分で答え合わせ、直しまでする方法を授業内で身に付けてほしい）。

・保護者が丸付けをしても、学校に宿題を提出し、先生が最終的に丸付けをしているから、それなら子どもたちの学習能力や理解度の確認として、学校でしてもらうのがいいと思う。

■夏休みの読書感想文や自由研究などは、取り組み方法や書き方に条件があり、結局、子どもの宿題ではなく親の宿題になりがち。学校が求めるものを仕上げてほしいのであれば、もっと授業内で指導してほしい。

→<ご提案、ご意見に対して>

長期休み期間中に、答え合わせまで済ませて、お子さん自身の理解を進めておくことと、長期休み明けに教員が宿題に取り組んだ過程や結果を確認すること、どちらも意味があり大事なことです。次年度の夏休み前に、各学年から学年段階に応じ、長期休みの宿題（読書感想文も含む）に取り組む趣旨や進め方についてご家庭への説明がより明確になるようにしたいと思います。

自由研究につきましては、昨年度も似たご意見をいただいております。それを踏まえ今年度は、

夏休み前に自由研究に初めて取り組む4年生はもちろん、5・6年生にも複数回、授業の中でテーマの決め方などについて事前指導を行いました。そして「理科通信」を配布し、保護者の皆様にもご参考にしていただけるようにいたしました。自由研究課題を出している4～6年全体には、「4・5・6年生のみなさんへ【夏休みの宿題】理解の自由研究についてのお知らせ」というプリントを配布し、本校高学年理科担当教員だけでなく、5・6年理科を担当している中学校理科教員にも質問や相談ができる時間枠を紹介するなどしました。また折々「テーマ決め」について個々に声かけもいたしました。それでも、実際取り組んでみると困ったりする場面があり、保護者の方も関わり方に迷われることもあると思います。7月中は校内での研修や会議が多く、比較的多くの教員が学校で勤務しておりますので、早めにご相談いただければお役に立つこともできると思います。ご意見ありがとうございました。

わんぱく班活動について

■わんぱく班での活動は、とてもいいと思う。低学年の慣れないことや難しいことを上級生たちがサポートしてあげる。中学年は自分のことを自分でできる範囲で行動し、できないことは高学年に助けを求める力をつけることができる。また、低学年を気にして、声かけやサポートできる場所はサポートしてあげるなど、自分たちの役割を認識して遂行する力をつける機会になっていると思う。わんぱく班でも活動は、たくさんあっていいと思う。

→<ご提案、ご意見に対して>

異年齢交流のある縦割り班活動の趣旨や意義をご理解くださり、また積極的に評価していただき、ありがとうございます。今年度も6年生を中心に高学年児童が相手意識をもってたくさん活躍し、大きく成長したと思います。次年度もわんぱく班活動が効果的に行われるようにして参ります。

その他

■「特にありません」というコメントもいただきました。ご丁寧にありがとうございました。

